

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.2 2023年1月31日

製品・サービス動向-国内

■パルケ：無料ミーティングアプリ「パルケミート」、ChatGPTを活用したチャットボット機能（β版）を1月27日より提供開始、パルケトークは1日でメッセージ数が前日比+459.4%に

(PRTIMES：1月27日)

株式会社パルケ (<https://parque.io/>) (東京都港区) は、1月27日より、無料ミーティングアプリ「パルケミート」 (<https://parque.io/meet>) において、ChatGPTを活用したチャットボット機能（β版）の提供を開始する。



チャットボット機能（β版）使用例（パルケ）

一足先にチャットボット機能（β版）の提供をスタートしたパルケトークでは、リリースした翌日にはメッセージ数がリリース前日と比べて+459.4%になるなど大きな反響を得ているという。

パルケミートではミーティングアプリの中でもChatGPTにいち早く着目し、コメント欄でChatGPTをメンション[@ChatGPT]して質問を返信すると、ChatGPTから回答を受信するという「チャットボット

機能（β版）」を追加した。

ChatGPTは、人工知能を研究する非営利団体のOpenAIが提供している。ユーザと会話形式で対話する言語モデルで、質問をすると会話形式の自然な文章で回答が得られ、高度な会話も可能であることから注目を集めている。

Googleなどの検索サイトとは異なり、あらゆる情報を提供することはできないが、一方で会話形式で必要な情報を端的に教えてくれるため、情報を求め複数のサイトをさまよう必要はないという。たとえば、複数人が集まるウェブ会議では、まずはChatGPTに「議論すべきアジェンダ」について聞き、議論を深めていくことで、検討漏れを防ぐことができるという。

パルケミートは無料でずっと話せるミーティングアプリ。アプリやアカウントが不要で、時間は無制限、文字起こし機能もある。コストや時間制限を気にせずウェブ会議を利用でき、また、シンプルで誰もが使いやすい操作性を追求している。会社を超えたプロジェクトや社内コミュニケーションに加えて、NPO・PTA・マンション管理組合など地域のコミュニティ活動、ゼミやサークル活動など、さまざまなシーンで気軽に利用できるようになっている。

※無料ミーティングアプリ「パルケミート」/ ChatGPT機能（β版）をリリースしました！

https://youtu.be/_sReUrWB2Gc

■ナイスモバイル：MAXHUB「Sound bar Pro」と27型4Kモニターをセットにした「WEB会議フルパッケージ」をリニューアル、タッチ操作に対応

(PRTIMES：1月24日)

ナイスモバイル株式会社 (<https://nicemobile.jp/>) (長野県松本市) は、1月24日にMAXHUB「Sound bar Pro」と27型4Kモニターをセットにした「WEB会議フルパッケージ」をリニューアルする。



WEB会議フルパッケージ (ナイスモバイル)

MAXHUB Sound bar Pro は、Android9.0 を搭載したカメラ・マイク・スピーカー一体型の Web 会議機器で、27 型 4K モニターと接続するだけで、簡単に Web 会議を開始することができるようになっている。

WEB 会議フルパッケージには、MAXHUB Sound bar Pro、27 型 4K モニター (IPS パネル、3840x2160、リフレッシュレート 60Hz、応答速度 5ms)、27 型タッチフレーム (タッチ操作を可能に)、Sound bar スタンド、ワイヤレスドングルが含まれている。価格はオープンとなっている。

その中で MAXHUB Sound bar Pro について。搭載されているカメラは、1/2.3 インチ CMOS センサー 1200 万画素で、フレームレートは 4K@30fps、視野角は 120 度となっている。角度調整は上下 15 度で手動調整。デジタルズームやオートフレーミングに対応している。

また、スピーカー (8W) を 1 個、マイクは 6 個内

蔵となっており集音範囲は 8m となっている。ノイズ低減、エコーキャンセル搭載。

本体の入出力インターフェイスには、イヤホン&マイク、HDMI、有線 LAN (10/100Mbps)、Wifi、USB (USB 2.0 Type-C、USB 3.0 Type-A) がある。

本体のサイズは 465mm x 91mm x 57mm、重量は 1.3kg となっている。

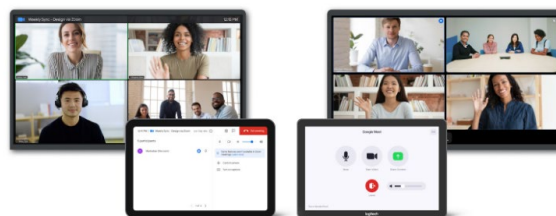
MAXHUB Sound bar Pro には、本体のほか、電源アダプタ、USB ケーブル、HDMI ケーブル、リモコン、カメラレンズカバー、壁掛け金具一式、日本語クイックスタートガイド、保証書 (2 年間) が同梱されている。

WEB 会議フルパッケージは、ナイスモバイルによると、「カメラやマイクの接続・配線が煩雑だ」「少人数の WEB 会議をより効率的に、シンプルにしたい」「資料投影もワイヤレスで簡単にやりたい」などのニーズにおすすめという。

製品・サービス動向-海外

■Zoom Communications 社：「Zoom Rooms」と「Google Meet」との相互接続など他社サービス等との相互接続に関するサポートを強化

(Zoom blog：1月26日)



相互接続イメージ (Zoom Communications)

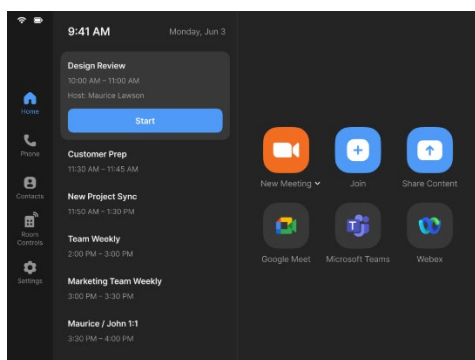
Zoom Communications 社 (<https://zoom.us/>) (米国・カリフォルニア州) は、同社のブログにおいて、1月26日より、「Zoom Rooms」と「Google Meet」と

の相互接続が可能になったと発表した。この他、他のプラットフォームとの相互接続用ショートカット、SIP対応ビデオ会議との接続などの発表も行われた。

「Zoom Interop for Google Meet」によって、Zoom Rooms ユーザは、Google Meet の会議に簡単に参加できるようになるというもの。Zoom Rooms へ招待(invite)を送り、ボタンを押すだけで、即座に Google Meet の会議室に入り会議にビデオで参加したり、電話で入ったりできる。また逆に Google Meet ハードウェアデバイスから Zoom Meeting にビデオで入ったり、電話で入ったりも可能だ。

追加のハードウェアやサブスクの費用なしで相互接続の機能は使用できるようになっているが、管理者のみがこの機能を有効にできる権限を持つ。ただし、相互接続では、全ての Zoom Rooms や Google Meet のネイティブ機能をサポートしているわけではないが、高品質な映像と音声、ユーザーインターフェイスは提供される。

Zoom 社と Google 社では今後も連携して機能を追加し相互運用エクスペリエンスを向上させいく予定という。



Google Meet、Microsoft Teams、Webex 各サービスへのショートカットボタンを提供 (Zoom Communications)

また、今回の発表と同時に、Zoom Rooms のホーム画面 (Controller home screen) に、オプションで相互接続用のショートカットを提供する。これにより、Google Meet、Microsoft Teams、Cisco Webex のボ

タンからそれぞれの会議へワンボタンで参加できるようになる。

さらに、第一四半期の終わりまでに、SIP の相互接続も基本的にサポートする予定となっている。これにより、Zoom Meetings のサブスク契約ユーザは、外部の SIP 対応のビデオ会議システムが参加した Zoom ミーティングを開催することが可能になる。Zoom の契約ユーザで社内に標準的なビデオ会議専用端末を所有している場合は「Conference Room Connector(CRC)」を使用することで相互接続に必要な機能を提供する。

また、「Zoom Rooms 5.13」では、Zoom Rooms コントローラーなどに会議情報を入力することで Microsoft Teams 会議に直接参加できるようにする機能も発表した。

セミナー・展示会情報

<国内>

■Zoom Japan Developer Summit - 2023 Winter -

日時：2月2日(木) 15:00～

会場：オンライン

主催：ZVC JAPAN 株式会社

詳細・申込：

https://success.zoom.us/webinar/register/WN_lve4Zo6URZaenYAUSC2RWw#/registration

■【販売店様限定】Yealink 新製品 A10 紹介ウェビナー

「日本の会議室に 90%対応可能！最軽量で高機能な Teams Rooms デバイス登場！」

日時：2月8日(水) 11:00～12:00

会場：オンライン

主催：Yealink 社

詳細・申込：

<https://www.yealink.com/en/onepage/yealink-mtr-webinar-for-new-solution-a10>

■日本マイクロソフト共同**Teams Rooms デモンストレーションセミナー**

日時：2月16日（木）16:00～17:00

会場：オンライン

主催：VTV ジャパン株式会社/日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/2302vtv/>**■ブイキューブセミナー情報（2月）**

「最先端 3D 合成 スタジオ体験ツアー」「Amazon IVS や Agora で始める [ライブ配信アプリ開発] 勉強会」「今さら聞けない！バーチャル株主総会 疑問解決！ 小規模 QA ウェビナー」「ぶらっとオフィス見学 Days！ Web 会議歴 10 年以上の職場とは」など

会場：オンライン/オンデマンド、東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>**■Webex Meetings 関連ウェビナー（2月）**

「Web 会議改善ワークショップ | Webex ホワイトボードを使った 30 分スプリントの体験型ワークショップ」「Webex Webinars が適切な会議実践例」「開発なしで導入できる遠隔行政窓口サービスとは」など（録画も視聴できます）

会場：オンライン/オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html**<海外>****■integrated systems Europe 2023**

日時：1月31日～2月3日

会場：Fira Barcelona, Gran Via（スペイン・バルセロナ）

主催・運営：Integrated Systems Events, BV

詳細・申込：<https://www.iseurope.org/welcome>**■Enterprise CONNECT**

日時：3月27日～3月30日

会場：Gaylord Palms（米国・フロリダ州オーランド）

主催：Informa Tech

詳細・内容：<https://enterpriseconnect.com/>国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）<https://www.facebook.com/unifiedcom>**■Twitter（遠隔会議&UCトレンドワッチ）**<https://twitter.com/cnarjapan>**■メーリングリスト（dtc-forum）**<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>**定期レポートバックナンバー**

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>**CNAレポート・ジャパン 2023年1月31日号おわり**ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp